

# 七小の特色ある教育活動について

## 詩の暗唱

七小は詩の暗唱を10年間以上続けています。詩の暗唱は、子供たちの言葉の力を育てる豊かな学びです。声に出して繰り返す中で、美しい言葉の響きやリズムが自然と体にしみこみ、語彙や表現力が広がっていきます。また、想像力や感受性も育まれます。

2か月に1つの詩を覚えます。低・中・高学年で覚える詩は違います。また、それぞれに「おまけ」といって、日本人なら覚えておいてほしいものを載せています。(例：月雅称・いろはうた・俳句・短歌など) ぜひ、おうちの方も一緒に暗唱にチャレンジしてみてください。記憶力や集中力を高め、達成感も味わうことができます。



## 読書推進

図書館司書の先生が工夫を凝らして、読みたくなる図書館を目指しています。またPTA読み聞かせサークル「どんぐり」さんが朝の時間に読み聞かせをしてくださっています。読み聞かせは子供たちの心を豊かにし、愛情を注いでくれるものと感じています。

年間でそれぞれの学年に応じて読書目標が設定されています。

1年生75冊以上、2年生100冊以上、

3年生3000ページ以上4年生4000ページ以上

5年生4500ページ以上6年生5000ページ以上

そのほかにも「ミニビブリオバトル」にも取り組み、読書活動を推進しています。

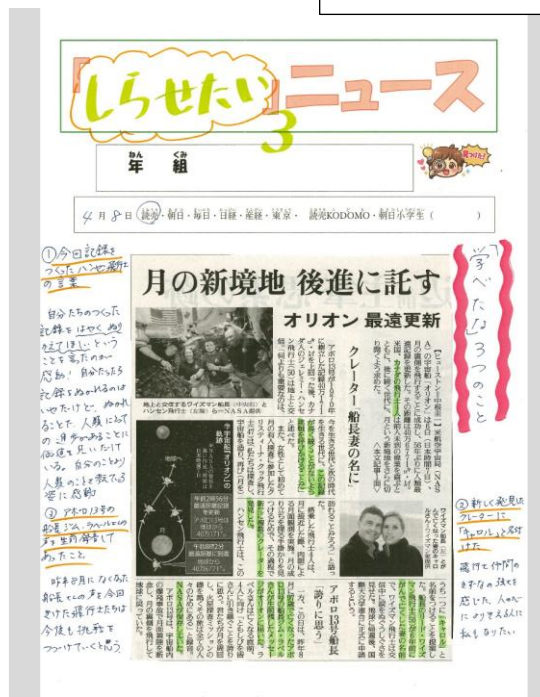
全校児童で取り組んだミニビブリオバトル  
6年生の図書委員3名が挑戦。  
チャンプ本は「穴」(ルイス・サッカー)に決定



## 新聞活用

授業の中や家庭学習で新聞を読む活動を取り入れています。高学年は担任の選んだ記事に自分の考えを書く家庭学習を定期的に行っています。また、全校の取組としてみんなに知らせたいニュースを見つけたらスクラップする活動を行っています。新聞は自分の興味のあるものだけではなく、多くの情報に出会うことができます。出合った情報をどのように「読み」「考え」自分の意見を「書く」か、たくさん力を使うこととなります。学力向上はもちろんですが、人間力向上にも役立つものだと考えます。低学年は自分で読むことが難しいと思いますので、ご家庭で一緒に読む活動もしていただければ、ご家庭でのコミュニケーションの一つになるのではないのでしょうか。楽しんで取り組んでください。新聞記事は学習室に置いてあります。

ご活用ください。



こども新聞を使うと、低学年の子供たちでも面白い記事を見付けられますね。

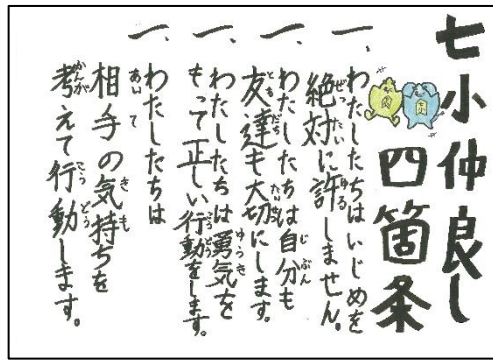
月の探査の記事は何日も継続して出ていました。日を追ってスクラップするのも面白いです。

### 充実したサポートルーム

登校に不安のあるお子さんも安心して学校に来ることができるよう、「サポートルーム」があります。工夫を凝らした教育活動を展開しており、今までに「かりんジュース」を作ったり、魚の飼育、植物の栽培なども行ったりし、登校の意欲につなげています。学習時間も確保されており、担任がサポートルームに出向くこともあります。年度当初と年度末の2回、保護者面談を校長室で行い、一人一人に応じた支援の仕方をご家庭と相談しながら決めています。また、サポートルームを活用している児童の保護者が気軽に話せる「LA PLACE」（フランス語で「広場」の意味）を不定期で開催します。

### 子供がつくる七小

代表委員会が中心になって、「七小仲良し四箇条」が令和7年度につくられました。また昨年度の6年生は「挨拶をもっとできるようになりたい」という思いで、動画を作成したり、新1年生に向けて七小のよいところを伝える取組を行ったりしました。自分たちでよりよい学校をつくっていこうと子供たちはとても意欲的です。令和8年度は特別活動を研究し、さらに子供たちが「なりたい自分」「つくりたい学校」「つくりたい社会」に向けて主体的に取り組めるようにしていきます。府中第七中学校・武蔵台小学校それぞれの生徒会・児童会と連携をした取組も行っていきます。





## 放課後学びの部屋

地域の方、卒業された保護者の方のご協力を得て、放課後の算数補習教室を開設します。子供たちに確かな学力を付けていくためには基礎・基本の習得は欠かせません。学校・ご家庭・地域が協力して子供たちの学びをサポートしていきたいと考えています。

## カフェ開催

地域コーディネーター中島さんが店長となり、登校に不安を抱えていらっしゃる保護者の皆様と団らんできる「LA PLACE」（ラプラス：フランス語で「広場」）を不定期で開催します。また、地域の方や保護者、学校職員が互いに語り合える「まつぼんカフェ」も開催予定です。ぜひお気軽にお立ち寄りください。

## 防災教育

「七小防災会議」と連携した避難所開設訓練と、PTAとの共催で行う「防災プロジェクト」を同日開催しています。子供たちは自分たちで考える防災プロジェクトを通して、自分たちにできることは何かを学びます。そして避難所開設訓練では、地域の大人がどのようにしてみんなの命を守っているのか知ることができます。防災の意識を高め、命を守り、つなぐ子供たちに育てています。



新聞紙でスリッパをつくりました



電動で汚物を袋詰めできるトイレの見学



三角巾の使い方を府中市赤十字奉仕団の方から教えていただきました



いつもの体育館が避難所になりました